






## ディーゼルエンジンの PM 強制再生制御方法 (エンジン型式 : 1KD-FTV)

|   |  |
|---|--|
| 1.  | DPR インジゲータランプが点滅している場合に以下の作業を行います。   |
|    | MIL 点灯および DPR インジゲータランプが点灯または点滅している場合は、PM 過堆積なので PM 強制再生制御を 2 回連続で実施します。   |
| 2.  | TPM1000 を診断コネクタに接続します。   |
| 3.  | エンジンを始動し、暖機します。  |
| 4.  | TPM1000 の画面表示に従い、[診断]→[トヨタ]→[作業サポート]→[ECD]→[PM 強制再生制御]の順に進み、PM 強制再生制御を実施します。   |
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>PM 強制再生制御中は排気ガス温度が非常に高温になるので、車両付近に近づかないようにして下さい。</li> <li>PM 強制再生制御中は排気管が非常に高温になるので、燃えやすいものを車両周辺に置かないようにして下さい。</li> </ul>   |
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>PM 強制再生制御は約 30~40 分で終了します。</li> <li>故障コード P2002/94 が記憶されていると、フェイルセーフにより出力制限が働き、PM 強制再生制御が禁止されます。このとき、EFI ヒューズ又はバッテリーターミナルを切り離し、60 秒以上経過後に接続すると PM 強制再生が可能になります。</li> <li>P2002/94 が記憶されておらず(チェックエンジンウォーニングランプ消灯)、DPR インジゲータランプが点滅している場合は、EFI ヒューズまたはバッテリーターミナルを切り離す必要はありません。</li> </ul> |

|   |  |
|---|--|
| 5.  | <p>PM 強制再生制御が終了したら、アイドル〜無負荷最高回転のレーシングを 10 回行い、DPR 触媒の溶損・破損を点検します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>黒煙の排出が 5 回 (*1)未満の場合は、PM 強制再生制御完了となります。</li> <li>黒煙の排出が 5 回 (*1)以上の場合は、DPR 触媒が溶損・破損しているので、エキゾーストパイプ ASSY FR(DPR 触媒)を交換します。</li> </ul> <p>*1 レーシング中に黒煙が薄くなっても、目視できる場合は 1 回として数えます。</p> |
|  | PM 強制再生後は排気管温度が非常に高温になるので、排気管の交換作業は十分に冷めた状態で行うようにして下さい。  |
| 6.  | <b>PM 強制再生制御完了後はエンジンオイルレベルの点検を実施します。</b>   |
|  | エンジンオイル量が Full レベルを超えている場合は、エンジンオイルを交換します。   |